事前評価チェックシート

計画の名称： ひたちなか市防災子ども安全まちづくり計画（防災・安全）

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
①上位計画等との整合性：「ひたちなか市第３次総合計画」において「災害に強く安心安全に暮らせるまちづくり」を掲げ，災害時の市民生活の安全確保を期すこととしており整合している。	○
I.　目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と都市計画の目標の整合性）：「ひたちなか市防災計画」において，地域住民の円滑な避難を確保するための道路整備，避難所となる公園の整備などの防災空間を確保することとしており整合している。	○
II.　計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性：防災性の向上にかかる指標として防災対策に対する市民の満足度，子どもの安全性にかかる指標として市内の交通事故による負傷者数としており整合している。	○
II.　計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性：満足度割合と負傷者人数といった定量的な指標となっており，現況値と目標値の比較が容易で評価が明瞭となる。	○
II.　計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性：小中学校周辺の避難路，一時避難所（公園）整備等を実施することから，目標と事業内容は整合している。	○
II.　計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性：子どもが多い学校周辺のハード整備を集中的に実施することから、防災性と子どもの安全性を総合的に向上させる見込みが高い。	○
III.　計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度，住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）：東日本大震災による津波等の被害により，沿岸部を中心に避難路等の防災機能を強化してきたところであるが，防災対策に対する市内全域の市民の満足度は約３割と低く，特に都市部の防災力強化が求められている。	○
III.　計画の実現可能性	
②地元の機運（住民，民間等の活動・関連事業との連帯等による事業効果発現の確実性）：警察や小中学校と連携し「ひたちなか市通学路交通安全連絡会議」を設置しており、PDCAを適宜実施しながら事業を進捗することとしている。	○

案件番号：0000447874